
Please me "fight";

藍沢茉結

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Please me ”fight”

【Nコード】

N2438Q

【作者名】

藍沢茉結

【あらすじ】

センター試験前日、欲しかった『頑張れ』の言葉。

それだけで、私頑張れるから…。

着ていたコートのチャックを、1番上まで素早く引き上げた。

制服のスカートが寒風によって揺れる。

男子の制服が羨ましくなるのは、こういう時だ。

「なんで女子ってスカートな訳っ…」

黒いハイソを無理矢理長く伸ばしながら、小さく文句を言う。

いらいらしているのは、寒さのせいだけではなかった。

朝から、起きたら携帯に迷惑メールが一件。

内容は、異常に長いチェーンメール。

誰がこんな信じるの、とぶつぶつ言いながらゴミ箱ボックスへ。

それと、昨夜電話すると言っていた僚介くんから、電話が来なかった事。
リョウスケ

遠距離恋愛中の彼は、社会人1年生で…まあ、色々忙しかったんだ
とは思うけどね。

拳句の果てに、今朝弟が手を滑らして私のお気に入りだったマグカップを割ってしまった。

今日こんなに立て続けに起こらなくても…何で今日？
神様は私に恨みでもあるのかしら。

溜息を吐きそうになって、慌てて止める。

幸せが逃げて行くって言うからね。

今日は逃げていかれちゃ困る。
大事な日なのだ。

「おしっ」

と気合を入れて私は歩き出す…と。

出鼻を挫くように、ポケットにある携帯が振動した。

「はい」

アスサ
『梓?』

誰からかも確認しないでボタンを押したから、聞こえてきた声に心底驚く。

「僚介くん?」

『や、俺の携帯だから』

「うん、誰からか見て無かった」

『あ、そう…昨日ごめん、帰り遅くてさ…』

「…待ってたんだからね、おかげで寝るの遅くなった」

昨日くれなかった電話。

昨日、電話越しからでも欲しかった“頑張れ”の言葉。

『え、でもちゃんと寝たんだろうな?』

少し焦ったような声が耳に届いて、私は少し笑った。

「寝たよ、寝なかったら今日大変だもん」

『良かった…今日センター試験だったよな』

「うん」

『頑張って来いよ』

「うん」

『梓なら、大丈夫』

「…うん」

欲しかった、コトバ。

これできっと、頑張れる。

もしかしたら、昨日聞くよりも効果は絶大。

『じゃあ、俺仕事行くから…頑張れ』

「行ってらっしゃい」

携帯を切ると、寒さも気にならないほどに身体は温かくなっていた。

よし。

頑張ろう。

新たに気合を入れ直し、私は歩き始めた。

End…

(後書き)

★あとがき

私立高校の受験に行く時、歩いていてふと思いついたもの。
我ながら、自分の書く物語には電話物が多い気がします(笑)

それでは。

ここまで読んで下さった皆様に、最大の愛と感謝をこめて。

With love. . .

ありがとうございました!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2438q/>

Please me "fight";

2011年1月26日13時34分発行